



● 婦人科腫瘍診療 / ローリスク外来 / 小児臍ヘルニアの土曜日日帰り手術 / 消化器センター外科ロボット支援手術
/ AIを使った大腸内視鏡検査の保険償還(中面) ● 北部病院からのお知らせ(裏面)

内科 最新事情



内科診療科長・准教授
伊藤 英利
いとう ひでとし

このたび、2024年4月1日付で内科系診療センター 内科の診療科長に就任いたしました伊藤英利と申します。

私は2002年4月より昭和大学横浜市北部病院 内科に入職し、内科学全般及び専門領域である腎臓内科学の研鑽を積んでまいりました。研究に関しては、入職当初より、緒方浩顕 教授のご指導の下、腎臓疾患とその合併症に対する新規治療薬や、透析療法の器材開発の臨床試験へ参加しております。

開院直後は人員不足であった内科ですが、前任者の田口進 教授、衣笠えり子 教授、坂下暁子 教授らのリーダーシップの下で発展し、現在、内科には「血液内科」「腫瘍内科」「腎臓内科」「糖尿病・代謝・内分泌内科」「脳神経内科」「リウマチ・膠原病内科」の6分野における専門領域の医師が所属しております。そして各専門領域の医師が連携し、最新の医療技術を駆使して、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供しています。また、各医師が専門性を維持しながらも、全身を総合的に診察し、治療することに重きを置いております。

さらに、他の診療科・センターにかかっている内科的疾患を合併した患者さんであっても、手術や化学療法などの高度な最新医療を受けられるよう、相談などに幅広く対応し、緊密に連携を図っています。

横浜市都筑区の平均年齢が上昇している現状において、内科の役割はますます重要になっています。私たちは、患者さんの健康を最優先に考え、地域社会に貢献することを使命としています。今後も地域の皆様からの信頼に応えられるよう努めてまいります。引き続き、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

地域医療機関のみなさまへ

当科の医療従事者向けのホームページが新しくなりました。使いやすく、情報も充実しています。ご覧いただければ幸いです。

昭和大学横浜市北部病院 内科系診療センター 内科ホームページのご紹介 ▶
<https://showa-hokubu-naika.jp/>





女性の健康を支える：婦人科腫瘍診療、再始動！

婦人科がんは増加傾向であり、特に子宮体がんと卵巣がんは増加しています。また、近年のHPVワクチンの接種不良により子宮頸がんも再増加しています。

地域の皆様にとって、婦人科腫瘍の診療および治療へのアクセスが容易にできることは極めて重要であり、この度婦人科腫瘍専門医・指導医の着任に伴い、婦人科腫瘍診療を本格的に再開いたしました。リニューアルな気持ちで再スタートし、まずは、早期子宮体癌に対するロボット支援下手術や婦人科癌における化学療法（分子標的薬も含めた）などを開始していきます。

その中で、地域の健康と幸福を第一に考え、患者さん中心のケアを提供し地域のニーズに応えることを使命としながら双方向性のある密な連携をとっていきたいと考えています。地域の患者さんのニーズを理解し、その中で最高水準の医療サービスを提供するように全力を注いでいきます。また、患者さんとその家族が安心して医療サービスが受けられるように医療に関わるスタッフ全員で、全力でサポートし、共に歩んでいきたいと考えています。



助産師による妊婦健診（ローリスク外来）を開始しました



マタニティハウスでは、妊娠36週以降の正常な妊娠経過をたどられている妊婦さんを対象に助産師による妊婦健診（ローリスク外来）を開設いたしました。医師による健診と同様に、助産師が胎児エコーや診察を行い妊娠経過を把握します。その上で、妊婦さんが主体的に妊娠・分娩・産褥期を過ごせるように、それぞれの妊婦さんに合わせた継続的なケア提供を行っています。具体的には、健診時間にゆとりがあるため、リラックスした雰囲気の中で、ご家族と一緒に健診を受けていただくことができます。そのため、ご家族と一緒に赤ちゃんのエコー画像をゆっくりと見ることができたり、バースプランや分娩中の過ごし方などを一緒に考えたりすることができます。妊娠中はマイナートラブルや心

配事が尽きないと思います。ぜひ、助産師による妊婦健診（ローリスク外来）をご活用いただき、助産師に何でもご相談ください。



小児臍ヘルニアの土曜日日帰り手術を開始しました

臍ヘルニアの80～90%は自然治癒するとされていますが、残りの10～20%は自然軽快せず、症状が残存します。そのような場合、当院では2歳を目安に手術をお勧めしております。当院での臍ヘルニア手術は火～木曜、木～土曜の2泊3日の入院で行っていましたが、2024年3月から土曜日の日帰り手術も選択できるようになりました。土曜日ですと、両親ともに仕事がお休みの家庭もあり、ご好評をいただいております。安全性については麻酔科を含めた関連部門と十分な協議をしたうえでシステムを構築しましたので、安心して手術を受けることができます。現在、第2週と第5週土曜日に臍ヘルニア日帰り手術を行っています。臍ヘルニアのお子さんがおられましたら、是非とも当院へのご紹介をお願いします。



消化器センター外科におけるロボット支援手術

当科におけるロボット支援下手術は2023年1月より開始し、2023年3月以降は、病院全体で毎日ロボット支援下手術が施行されております。腹腔鏡下手術では、開閉動作のみ有する鉗子での操作のため自由度が制限されており、一方、ロボット手術では多関節のロボット鉗子での精密な手術操作により、安全性や機能温存の面でも期待され私たちも実感するところであります。

しかし、急速な普及に伴う医療事故の増加を防止するための抑止力として、術者基準、施設基準が設けられております。直腸切除術は年間50例以上、胃切除は年間30例以上（2023年12月までは50例以上）との基準で当科は旧基準を含めてクリアしております。胃切除が年間50例→30例に下げられたのは、全国的に、それも主要施設での胃切除術が激減しているという背景があります。ご紹介していただきます地域医療機関の先生方の尽力に深く感謝申し上げます。

さて、当科において2024年5月18日までにロボット支援下手術では直腸切除術（直腸低位前方切除、直腸切斷術含む）を106例、結腸切除術を18例、胃切除術32例（胃全摘術7例）を施行しております。術中に内科医師に術中内視鏡施行していただき、縫合不全を認めないこと、吻合部出血を認めないことを確認していただいております、より手術の安全性の向上に努めております。

今後も、ロボット手術のみならず、抗がん剤療法、放射線療法を含めて総合的な癌治療の質の向上、手術手技の向上を目指して日々努力を怠らないよう邁進する所存であります。

使用機種：Da Vinci Xi



AIを使った大腸内視鏡検査の保険償還について

消化器センターでは大腸内視鏡検査に人工知能（AI）による診断支援ソフトウェアを導入しています。このAIは当センターが主導して開発したEndoBRAIN(エンドブレイン)という製品で、国から医療機器としての承認を得て2019年より市販され、国内に普及しつつあります。エンドブレインは病変の発見や診断などをサポートすることができ、現在5製品が市販されています（図）。2024年6月から、エンドブレインを使用した大腸内視鏡検査の有用性が国から認められ、診療報酬加算（60点）が付くことになりました。この加算はエンドブレイン以外の製品では請求することができず（2024年3月時点）、国からその精度に関してお墨付きをいただいた唯一の製品であると言えます。

このAIを使用することで、大腸癌や腫瘍を的確に発見・診断するだけでなく、潰瘍性大腸炎という難病の内視鏡診断をサポートすることが期待できます。ただしAIといっても必ずしも人間より優れているわけではなく、人間同様間違えることもあります。当センターはAIの開発に長年携わっているため、AIの得意なこと・苦手なことを内視鏡医がよく理解しておりますので、AIを使った大腸内視鏡検査では国内トップクラスの実力があり、精度の高い大腸内視鏡検査を提供しています。



北部病院からのお知らせ

1 『ふたり主治医制』を推進しています

関係医療機関のみなさまには、日頃より患者さんをご紹介いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

当院では、ご紹介患者さんの治療や症状が落ち着きましたら、再びかかりつけ医のみなさまにご紹介する「ふたり主治医制」を推進しており、その基本となる逆紹介率の向上に病院全体で取り組んでいます。

2023年度の逆紹介率は月平均85.5%となりました。引き続き、逆紹介率の上昇に向けた対策やその実施に取り組んでまいります。



患者さん向け
パンフレット

2 病診連携研修会の予定

診療科	名称	内容	日時	開催場所	担当医師等	連絡先
呼吸器センター 呼吸器内科	呼吸器勉強会	間質性肺炎	2024年7月11日(木) 19:30～20:30	北部病院中央棟 9階大会議室	松倉 聡	smatsuku@med. showa-u.ac.jp
消化器センター 消化器内科	第24回 EMR/ESD研究会	症例検討 など	2024年7月14日(日)	浜松町コンベン ションホール	林 武雅	045-949-7265 ホームページ (プライベート サイト参照)
	第20回 AI拡大内視鏡研究会		2024年9月14日(土)	ベルサール 半蔵門	三澤 将史	
	第33回 大腸IIC研究会		2024年9月15日(日)	ベルサール 半蔵門	一政 克朗 松平 慎吾	
	都筑区内科医会と昭和大学横浜市北部病院消化器センターとの連携勉強会		2024年9月24日(火) 19:20～20:50 (予定)	北部病院中央棟 9階大会議室	小形 典之	045-949-7265

3 地域医療連携フォーラムについて

第30回地域医療連携フォーラムを次のとおり対面で開催し、講演会及び懇親会に、病院内外から99名の参加がありました。ありがとうございました。

日 時：2024年6月13日(木) 19時15分から21時

場 所：昭和大学横浜市北部病院

講演1：僧帽弁閉鎖不全症/左心耳に対するカテーテル治療

座長 TOWN訪問診療所横浜院 院長 片岡 徹 先生

演者 循環器内科 講師 岡部 俊孝

講演2：地域の周産期医療に貢献する新NICU ― 昭和大学横浜市北部病院の取り組み ―

座長 海老原おとなこどもクリニック 院長 海老原 直樹 先生

演者 こどもセンター 准教授 村瀬 正彦

今回の地域医療連携フォーラムは、2024年11月13日(水)に開催を予定しています。
(今回は水曜日の開催です。)

開催日が近づきましたら、当院ホームページやちらしでご案内させていただきますので、ご参加のほどお願い申し上げます。

4 月曜日祝日(国民の祝日にあたる月曜日)の対応

日付	曜日	休日名	対応
7月	15日	月	海の日
8月	12日	月	山の日 振替休日
9月	16日	月	敬老の日
	23日	月	秋分の日 振替休日

※救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。

※紹介状がない場合は選定療養費(8,800円)が別途発生する場合があります。